

亀山市
ヤングケアラー実態調査結果報告書

令和 6 年 3 月
亀 山 市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査の方法	1
3	配布・回収数	1
4	報告書の見方（注意事項）	1
II	調査結果	2
I	あなたのことについて	2
II	ふだんの生活について	5
III	家族や家庭のことについて	10
IV	ヤングケアラーについて	23

I 調査の概要

1 調査の目的

ヤングケアラーと思われる子どもを早期に発見し、支援につなげる仕組みづくりの検討を行うことを目的とし、調査を実施しました。

2 調査の方法

① 調査対象地域 亀山市全域

② 調査対象者 対象年齢児童生徒

（小学生は市立小学校の5・6年生
中学生は市立中学校の1・2・3年生
高校生は市内高等学校の1・2年生）

③ 調査期間 令和6年3月

④ 調査方法 学校を通じて依頼し、ウェブ回答フォームにて回答

3 配布・回収数

種別	対象児童生徒数	回答数	回答率
中・高生	1,776	1,173	66.0%
小学生	969	778	80.3%

※対象児童生徒数は年度当初（5/1時点）であり、調査時点とは異なる

4 報告書の見方（注意事項）

- ① グラフおよび表中のn数（number of case）は、設問に対する回答者数を表しています。
- ② 調査結果（グラフ）の比率は、その設問の回答者数（n数）を分母として、小数点以下第2位を四捨五入して算出し、小数点以下第1位までを表示しています。したがって、端数処理のため、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合があります。
- ③ 複数回答形式（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問については、その設問の回答者数（n数）を分母として比率を算出しています。したがって、すべての回答比率の合計が100%を超えることがあります。
- ④ 選択肢の語句が長い場合、本文や図表中では省略した表現を用いている場合があります。

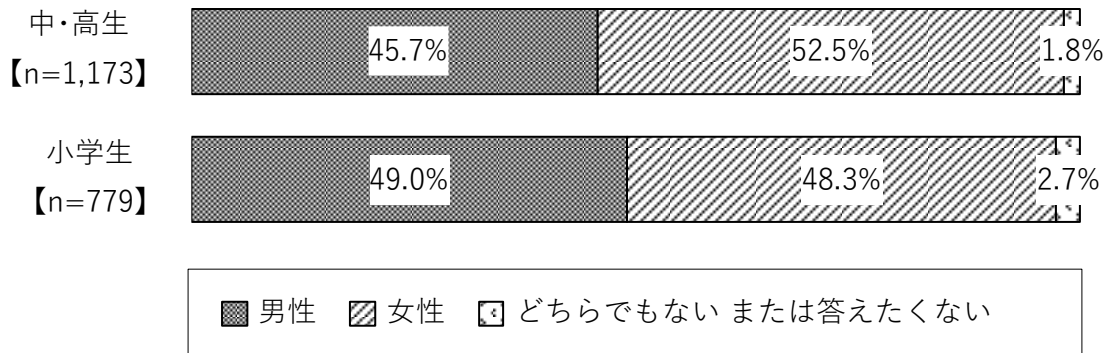
II 調査結果

I あなたのことについて

Q1 あなたの性別を教えてください。（択一回答）

性別については、中・高生では、「女性」が52.5%で最も高く、「男性」が45.7%、「どちらでもない または答えたくない」が1.8%が続いています。

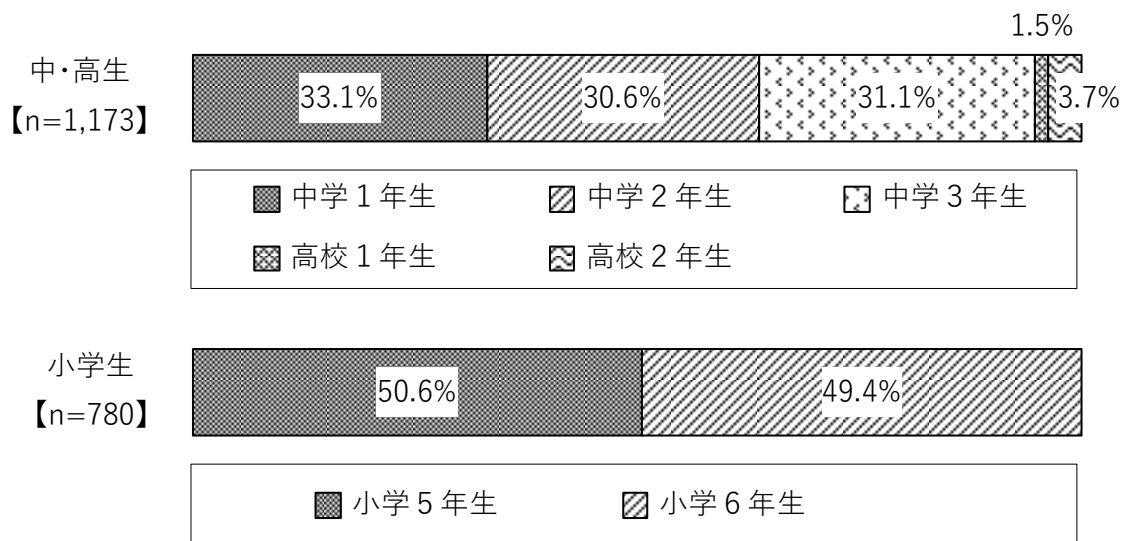
小学生では、「男性」が49.0%で最も高く、「女性」が48.3%、「どちらでもない または答えたくない」が2.7%が続いています。



Q2 あなたの学年を教えてください。（択一回答）

学年については、中・高生では、「中学1年生」が33.1%で最も高く、「中学3年生」が31.1%、「中学2年生」が30.6%が続いています。

小学生では、「小学5年生」が50.6%、「小学6年生」が49.4%となっています。

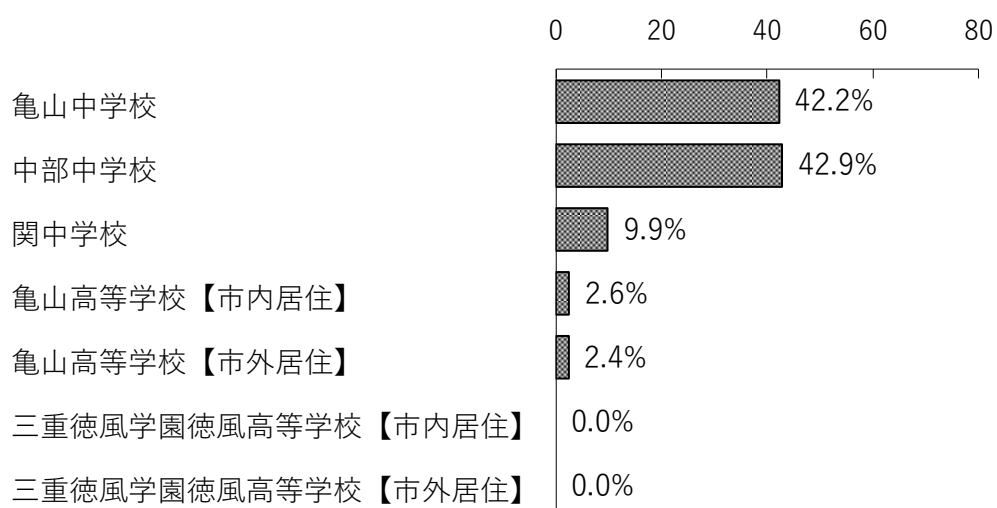


Q3 あなたの通っている学校を教えてください。（択一回答）

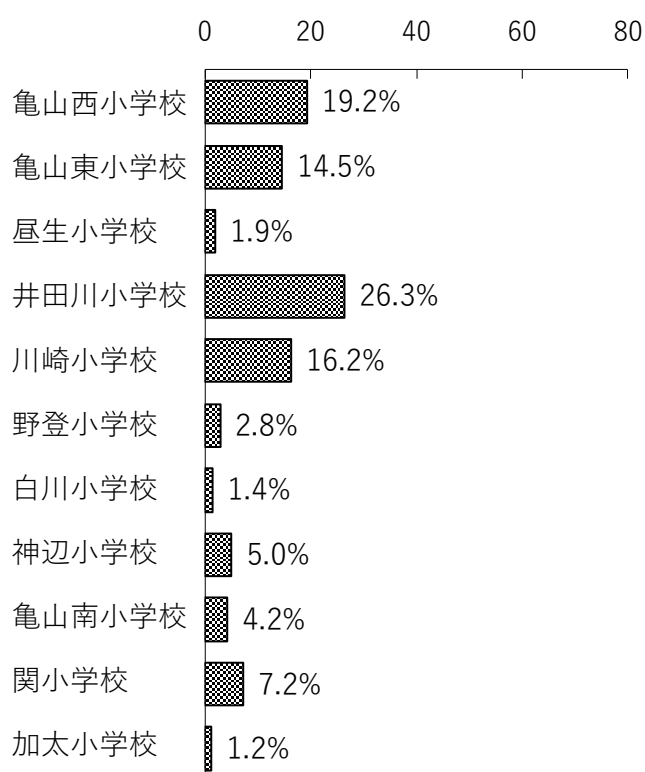
通っている学校については、中・高生では、「中部中学校」が42.9%で最も高く、「亀山中学校」が42.2%、「関中学校」が9.9%が続いています。

小学生では、「井田川小学校」が26.3%で最も高く、「亀山西小学校」が19.2%、「川崎小学校」が16.2%が続いています。

■ 中・高生 【n=1,173】



■ 小学生 【n=778】

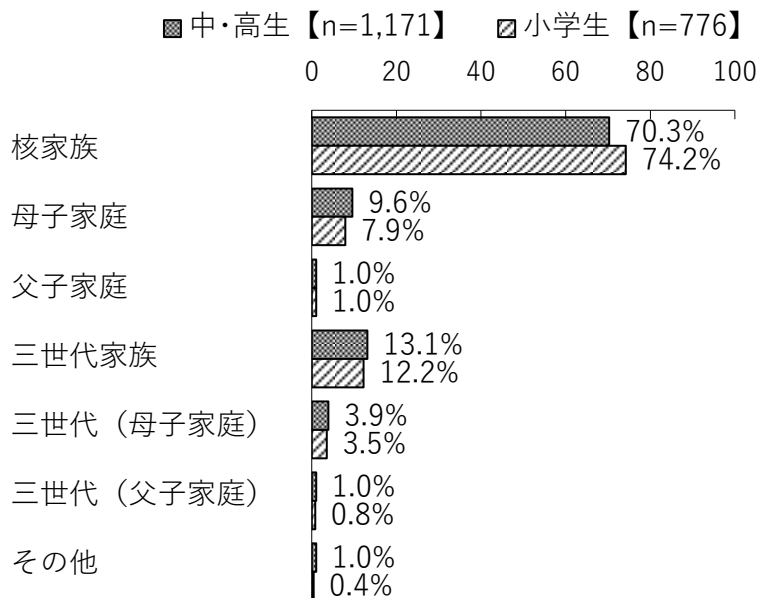
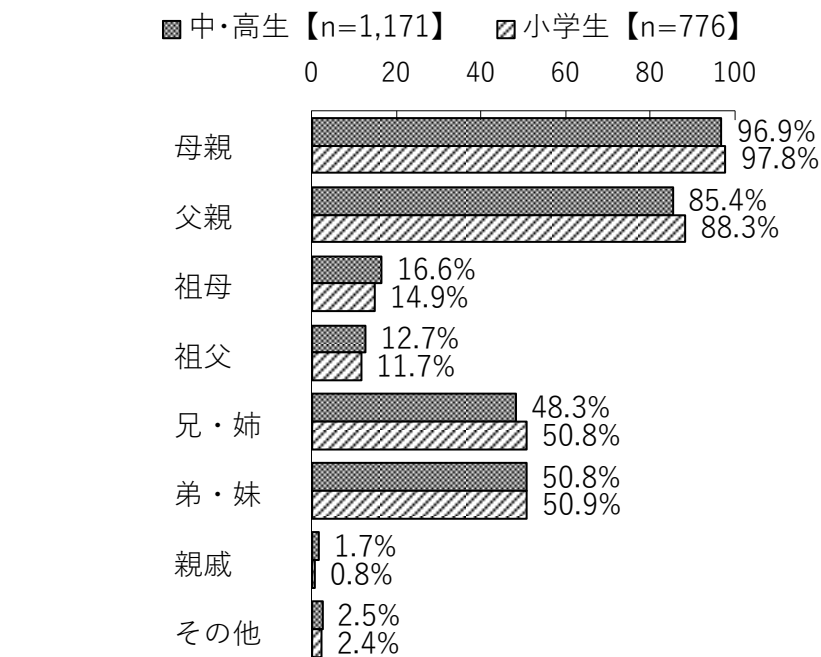


Q4 一緒に住んでいるのはだれですか。（複数回答）

同居する家族については、中・高生では、「母親」が96.9%で最も高く、「父親」が85.4%、「弟・妹」が50.8%が続いています。

小学生では、「母親」が97.8%で最も高く、「父親」が88.3%、「弟・妹」が50.9%が続いています。

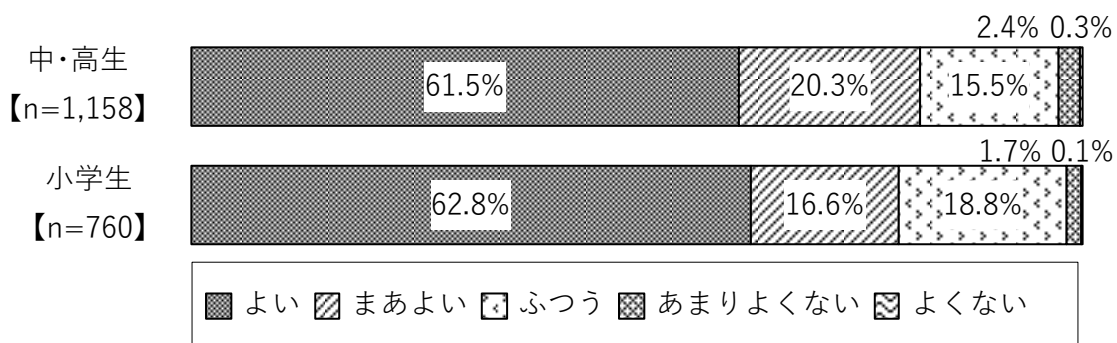
家族類型で区分すると、中・高生、小学生とも70%以上が「核家族」であり、「三世代家族」が12~13%、母子家庭が10%弱となっています。



Q5 あなたの健康状態について教えてください。（択一回答）

健康状態については、中・高生では、「よい」が61.5%で最も高く、「まあよい」が20.3%、「ふつう」が15.5%が続いています。

小学生では、「よい」が62.8%で最も高く、「ふつう」が18.8%、「まあよい」が16.6%が続いています。

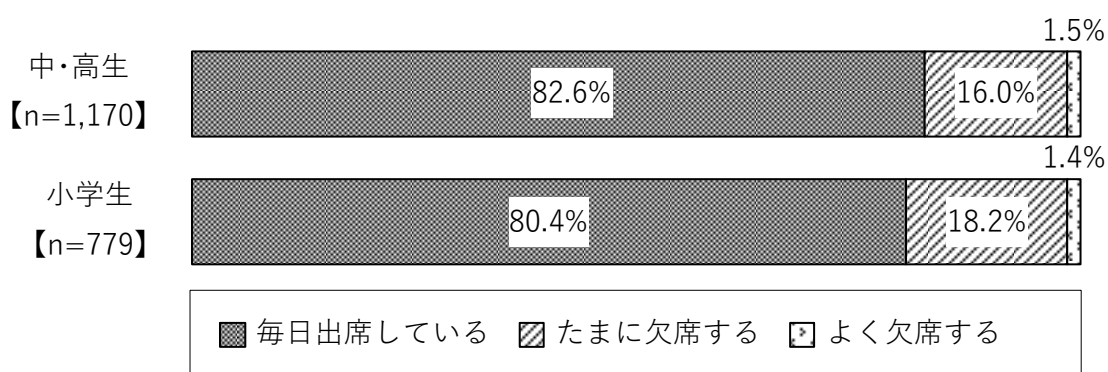


II ふだんの生活について

Q6 学校への出席状況について教えてください。（択一回答）

学校への出席状況については、中・高生では、「毎日出席している」が82.6%で最も高く、「たまに欠席する」が16.0%、「よく欠席する」が1.5%が続いています。

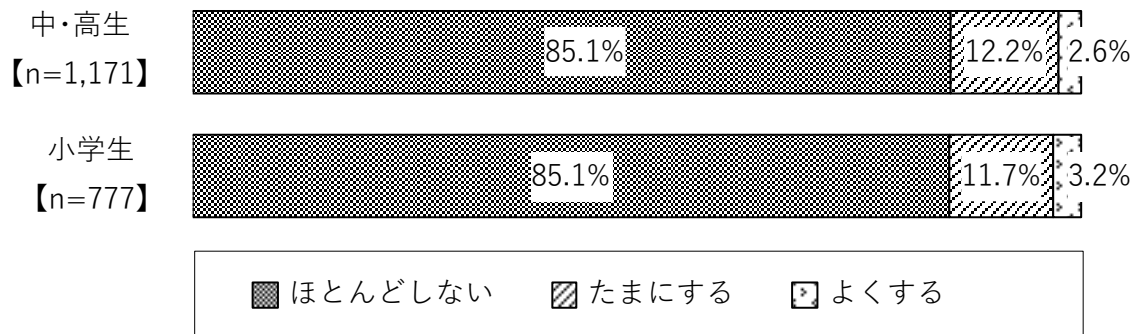
小学生では、「毎日出席している」が80.4%で最も高く、「たまに欠席する」が18.2%、「よく欠席する」が1.4%が続いています。



Q7 学校への遅刻や早退の状況について教えてください。(択一回答)

学校への遅刻や早退の状況については、中・高生では、「ほとんどしない」が85.1%で最も高く、「たまにする」が12.2%、「よくする」が2.6%が続いています。

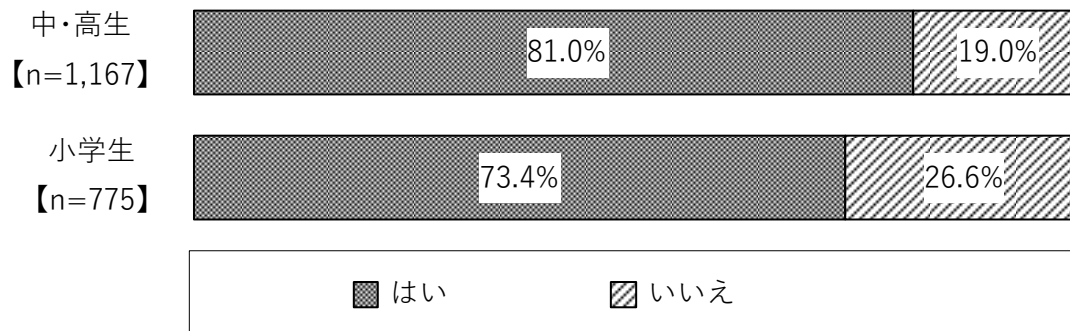
小学生では、「ほとんどしない」が85.1%で最も高く、「たまにする」が11.7%、「よくする」が3.2%が続いています。



Q8 部活動（学校以外での習いごとをふくむ）に参加していますか。(択一回答)

部活動（学校以外での習いごとをふくむ）への参加状況については、中・高生では、「はい」が81.0%を占めており、「いいえ」は19.0%となっています。

小学生では、「はい」が73.4%を占めており、「いいえ」は26.6%となっています。

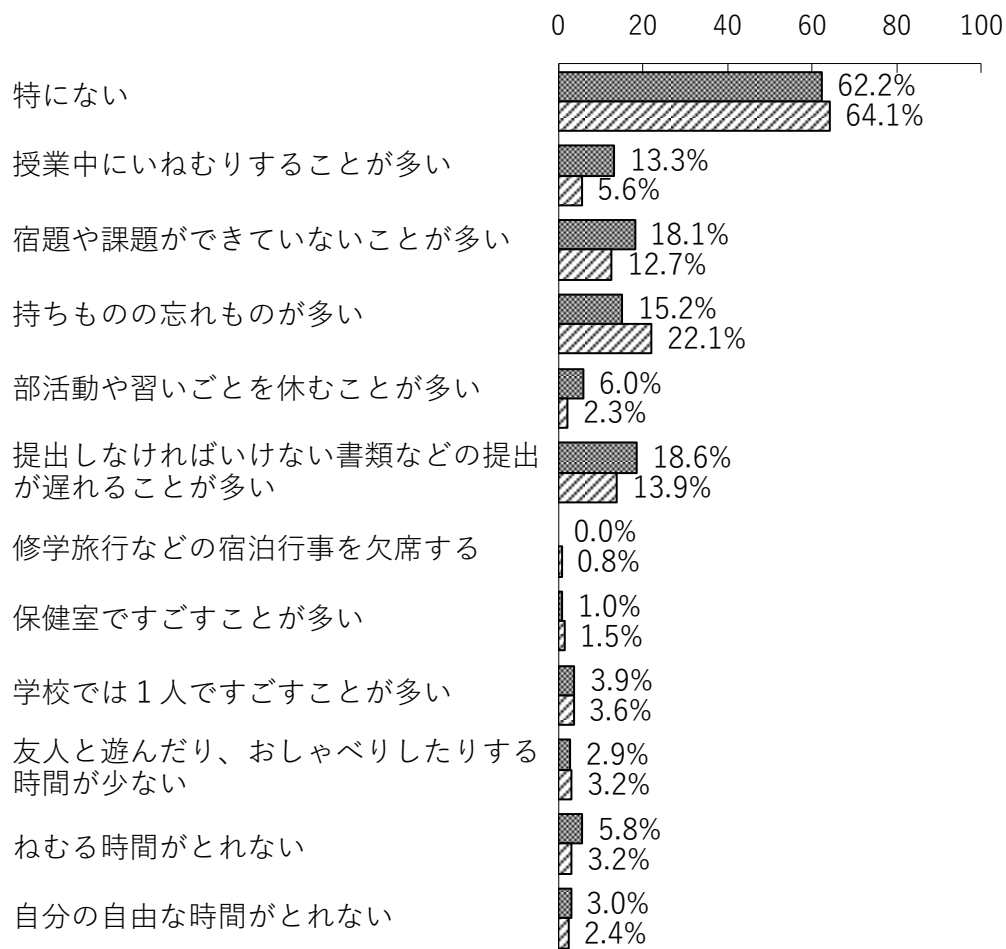


Q9 ふだんの生活において、以下の中であてはまるものはありますか。(複数回答)

ふだんの生活であてはまるものについては、中・高生では、「特にない」が62.2%で最も高く、「提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い」が18.6%、「宿題や課題ができていないことが多い」が18.1%で続いています。

小学生では、「特にない」が64.1%で最も高く、「持ちものの忘れものが多い」が22.1%、「提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い」が13.9%で続いています。

■ 中・高生 【n=1,135】 ▨ 小学生 【n=750】

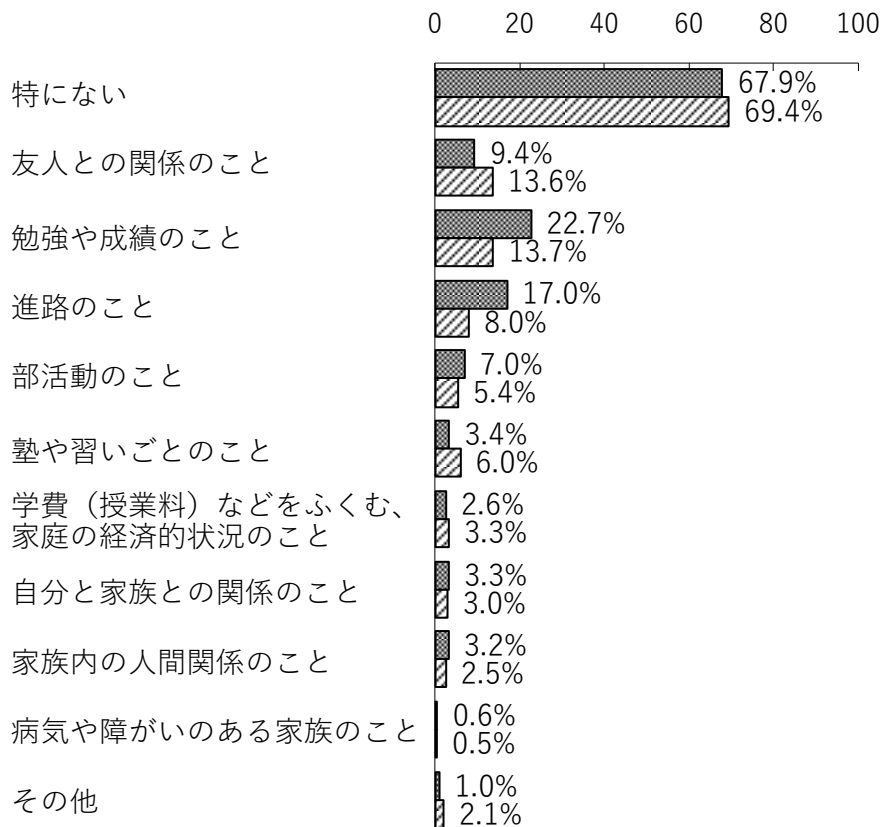


Q10 現在、悩んだり困っていたりすることはありますか。(複数回答)

現在、悩んだり困っていたりすることがあるかどうかについては、中・高生では、「特にない」が67.9%で最も高く、「勉強や成績のこと」が22.7%、「進路のこと」が17.0%が続いています。

小学生では、「特にない」が69.4%で最も高く、「勉強や成績のこと」が13.7%、「友人との関係のこと」が13.6%が続いています。

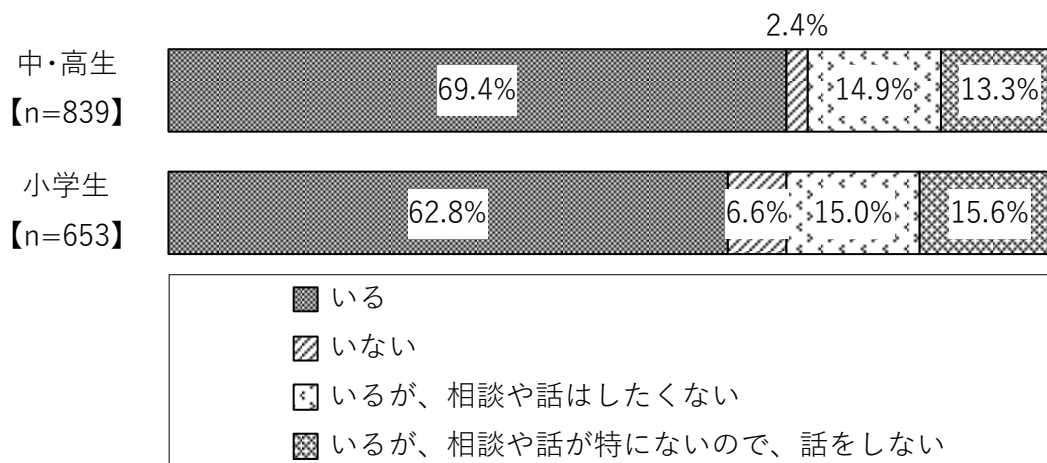
■ 中・高生 【n=1,149】 ▨ 小学生 【n=728】



Q11 Q10で回答した悩みや困りごとについて、相談にのってくれたり、話を聞いてくれたりする人が近くにいますか。いる場合には、その人に相談できていますか。(択一回答)

悩みや困りごとの相談相手の有無については、中・高生では、「いる」が69.4%で最も高く、「いるが、相談や話はしたくない」が14.9%、「いるが、相談や話が特にないので、話をしない」が13.3%で続いています。

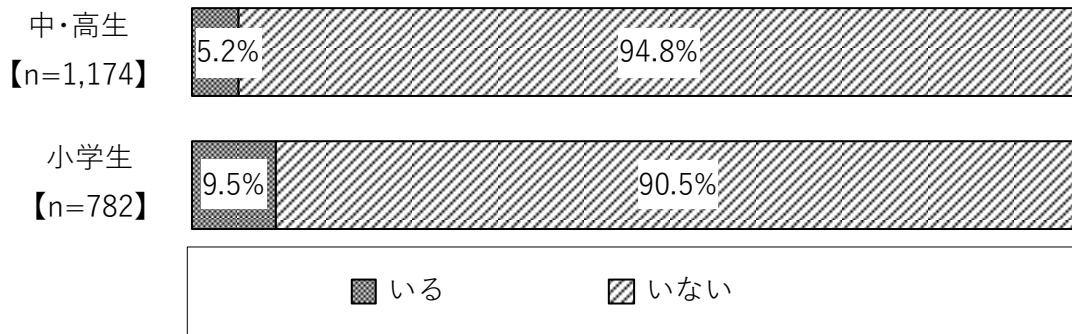
小学生では、「いる」が62.8%で最も高く、「いるが、相談や話が特にないので、話をしない」が15.6%、「いるが、相談や話はしたくない」が15.0%で続いています。



Ⅲ 家族や家庭のことについて

Q12 家族の中に、あなたがお世話をしている人はいますか。(択一回答)

家族の中にお世話をしている人が「いる」と回答した方は、中・高生では5.2%、小学生では9.5%となっています。

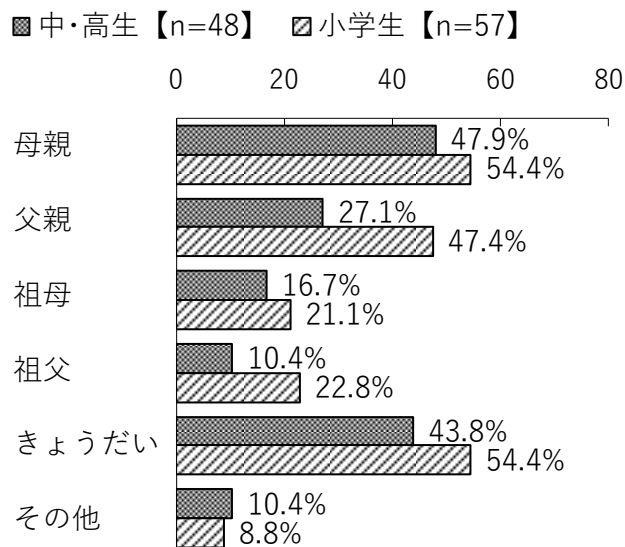


Q12で「いる」と回答した方にお聞きします。お世話の状況について教えてください。

Q13 お世話を必要としている方は誰ですか。(複数回答)

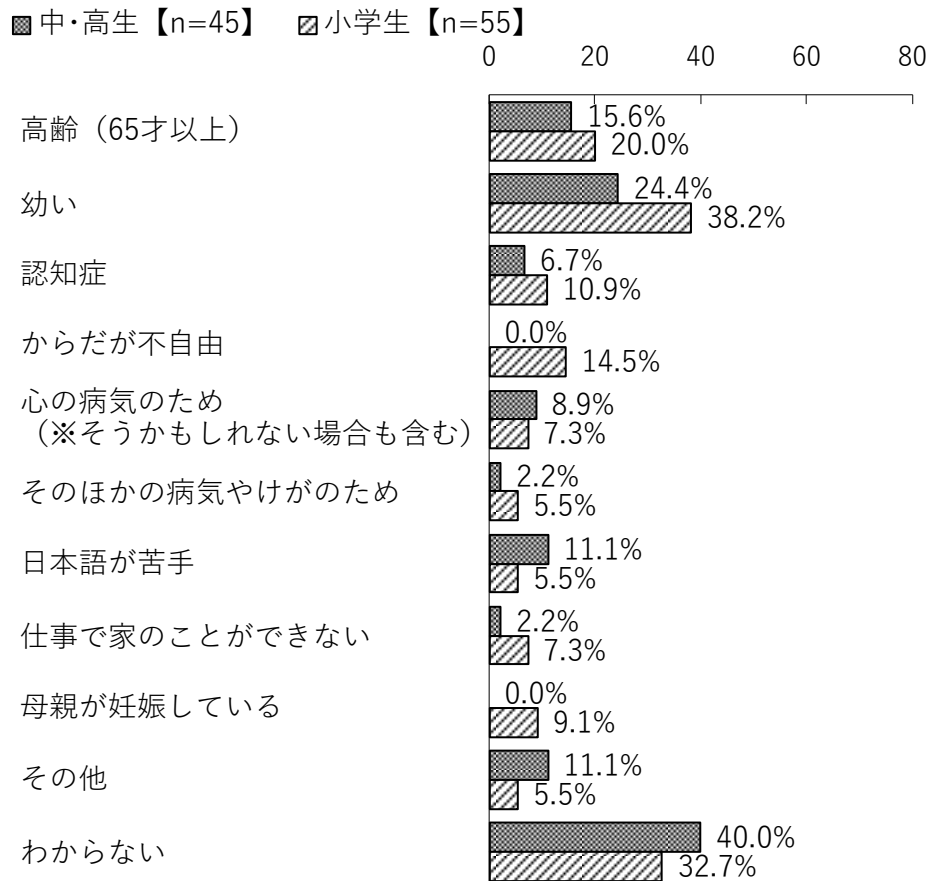
お世話を必要としている家族については、中・高生では、「母親」が47.9%で最も高く、「きょうだい」が43.8%、「父親」が27.1%が続いています。

小学生では、「母親」と「きょうだい」が同率（54.4%）で高く、「父親」が47.4%が続いています。



Q14 お世話を必要としている方の状況を教えてください。(複数回答)

お世話を必要としている方の状況については、中・高生では、「わからない」が40.0%で最も高く、「若い」が24.4%、「高齢（65才以上）」が15.6%が続いています。
小学生では、「若い」が38.2%で最も高く、「わからない」が32.7%、「高齢（65才以上）」が20.0%が続いています。

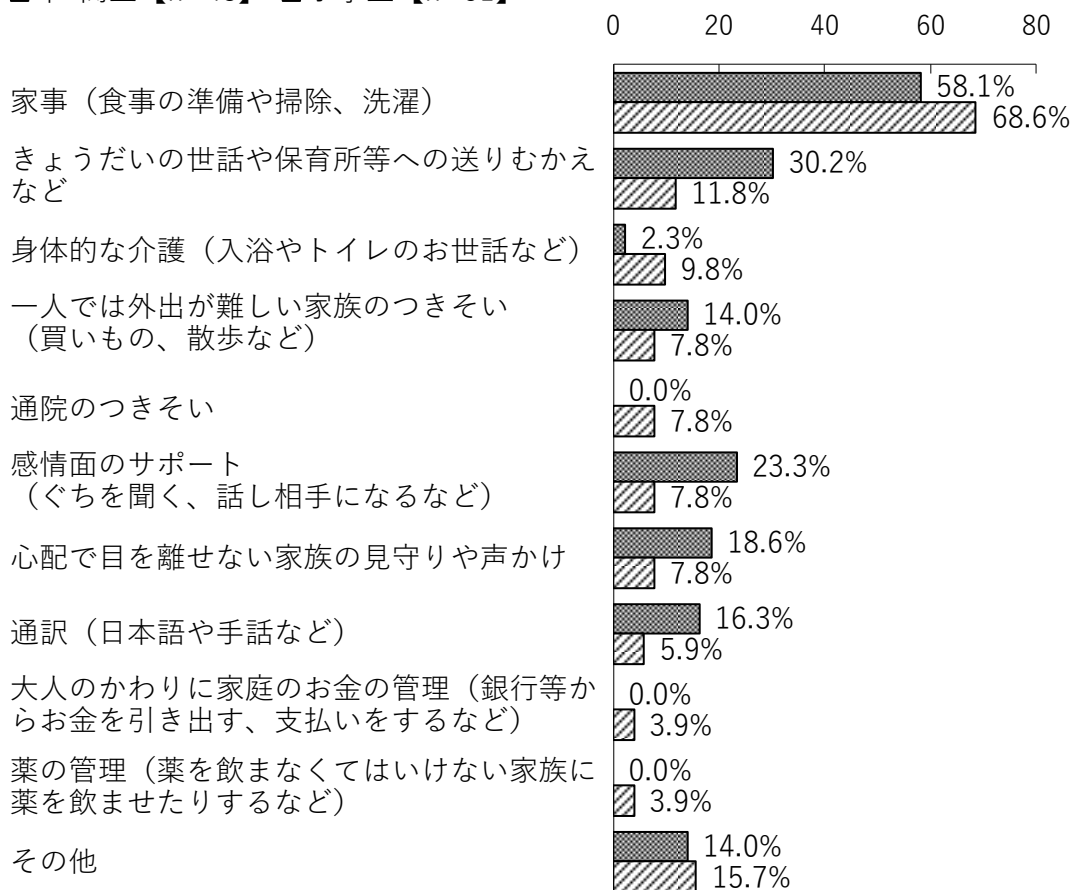


Q15 あなたが行っているお世話の内容を教えてください。（複数回答）

行っているお世話の内容については、中・高生では、「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」が58.1%で最も高く、「きょうだいの世話や保育所等への送りむかえなど」が30.2%、「感情面のサポート（ぐちを聞く、話し相手になるなど）」が23.3%で続いています。

小学生では、「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」が68.6%で最も高く、「その他」が15.7%、「きょうだいの世話や保育所等への送りむかえなど」が11.8%で続いています。

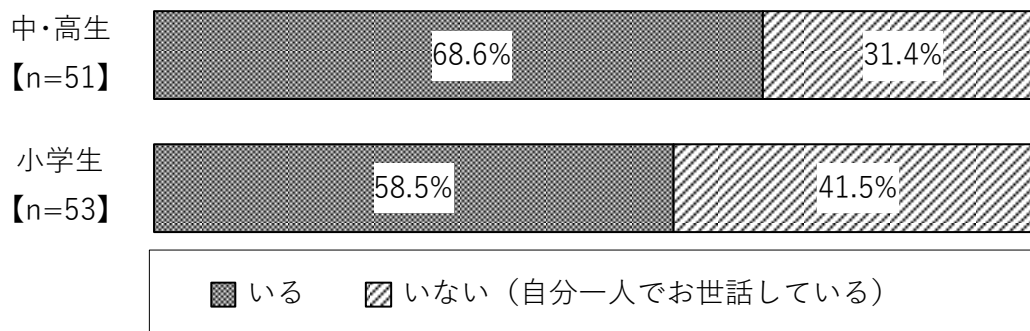
■ 中・高生【n=43】 ■ 小学生【n=51】



Q16 あなた以外に家族のお世話をしている人はいますか。

自分以外に家族のお世話をしている人の有無については、中・高生では、「いる」が68.6%、「いない」が31.4%となっています。

小学生では、「いる」が58.5%、「いない」が41.5%となっています。

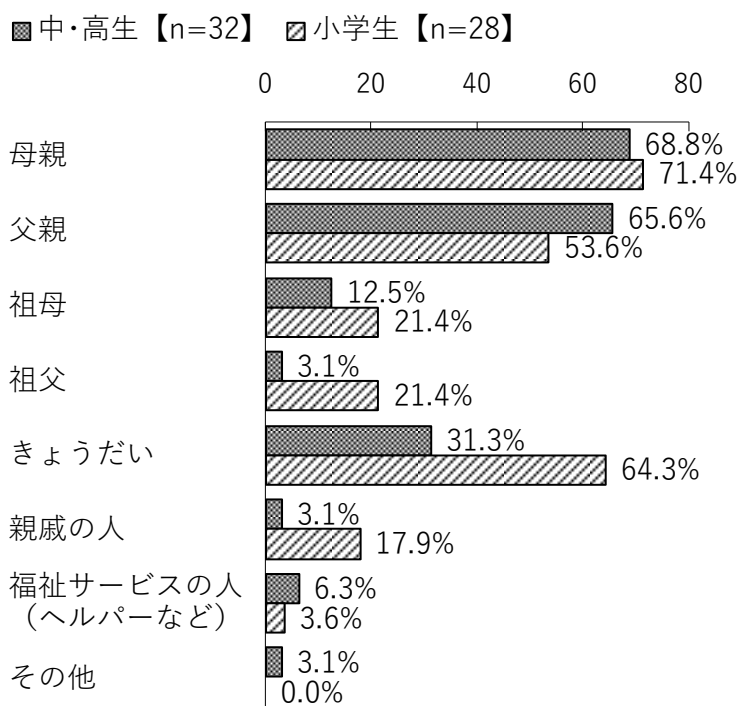


Q16で「いる」と回答した方にお聞きします。

Q17 あなた以外に家族のお世話をしている人は誰ですか。(複数回答)

自分以外に家族のお世話をしている人については、中・高生では、「母親」が68.8%で最も高く、「父親」が65.6%、「きょうだい」が31.3%が続いています。

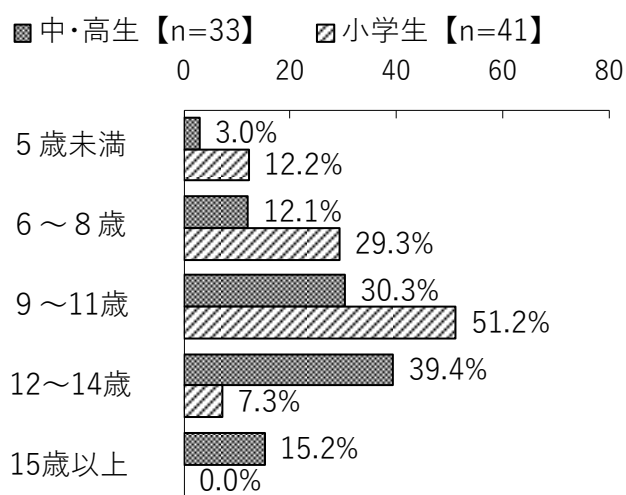
小学生では、「母親」が71.4%で最も高く、「きょうだい」が64.3%、「父親」が53.6%が続いています。



Q18 お世話はいつから行っていますか。お世話を始めたあなたの年齢をお答えください。
(数値回答)

お世話をし始めた年齢については、中・高生では、「12～14歳」が39.4%で最も高く、「9～11歳」が30.3%、「15歳以上」が15.2%で続いています。

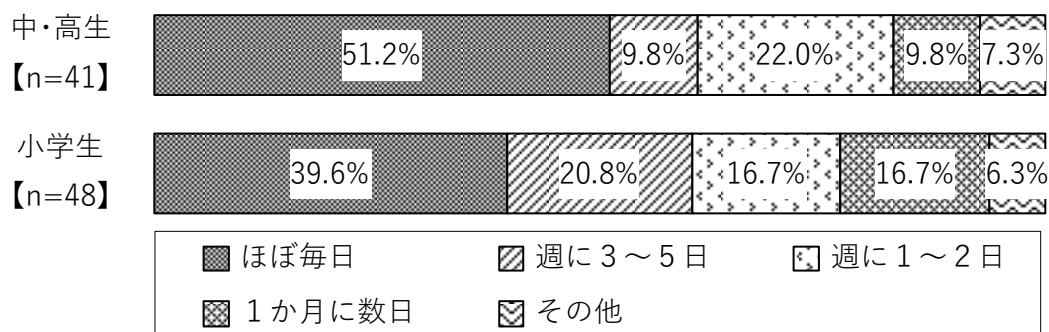
小学生では、「9～11歳」が51.2%で最も高く、「6～8歳」が29.3%、「5歳未満」が12.2%で続いています。



Q19 お世話をしている頻度を教えてください。(択一回答)

お世話をしている頻度については、中・高生では、「ほぼ毎日」が51.2%で最も高く、「週に1～2日」が22.0%、「週に3～5日」「1か月に数日」が9.8%で続いています。

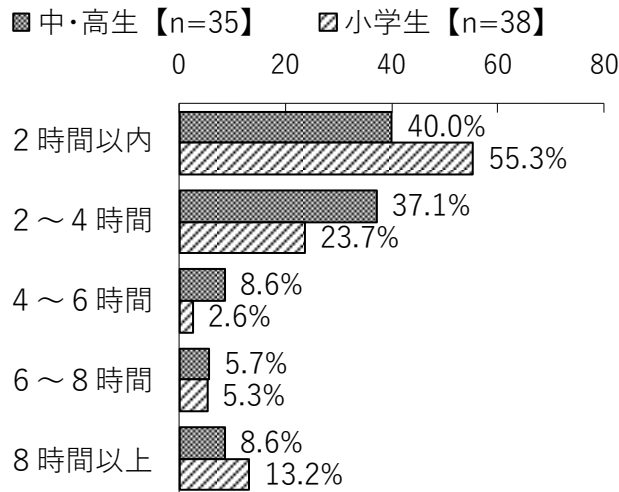
小学生では、「ほぼ毎日」が39.6%で最も高く、「週に3～5日」が20.8%、「週に1～2日」「1か月に数日」が16.7%で続いています。



Q20 平日にお世話はどれくらい行っていますか。時間数をお答えください。(数値回答)

平日の1日あたりのお世話に費やす時間については、中・高生では、「2時間以内」が40.0%で最も高く、「2～4時間」が37.1%、「4～6時間」が8.6%で続いています。

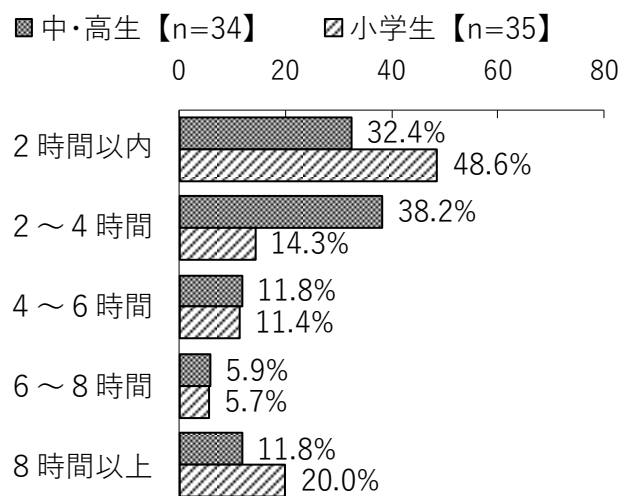
小学生では、「2時間以内」が55.3%で最も高く、「2～4時間」が23.7%、「8時間以上」が13.2%で続いています。



Q21 平日以外の日（土曜日、日曜日、祝日など）にお世話はどれくらい行っていますか。時間数をお答えください。(数値回答)

平日以外の日（土曜日、日曜日、祝日など）の1日あたりのお世話に費やす時間については、中・高生では、「2～4時間」が38.2%で最も高く、「2時間以内」が32.4%、「4～6時間」「8時間以上」が11.8%で続いています。

小学生では、「2時間以内」が48.6%で最も高く、「8時間以上」が20.0%、「2～4時間」が14.3%で続いています。

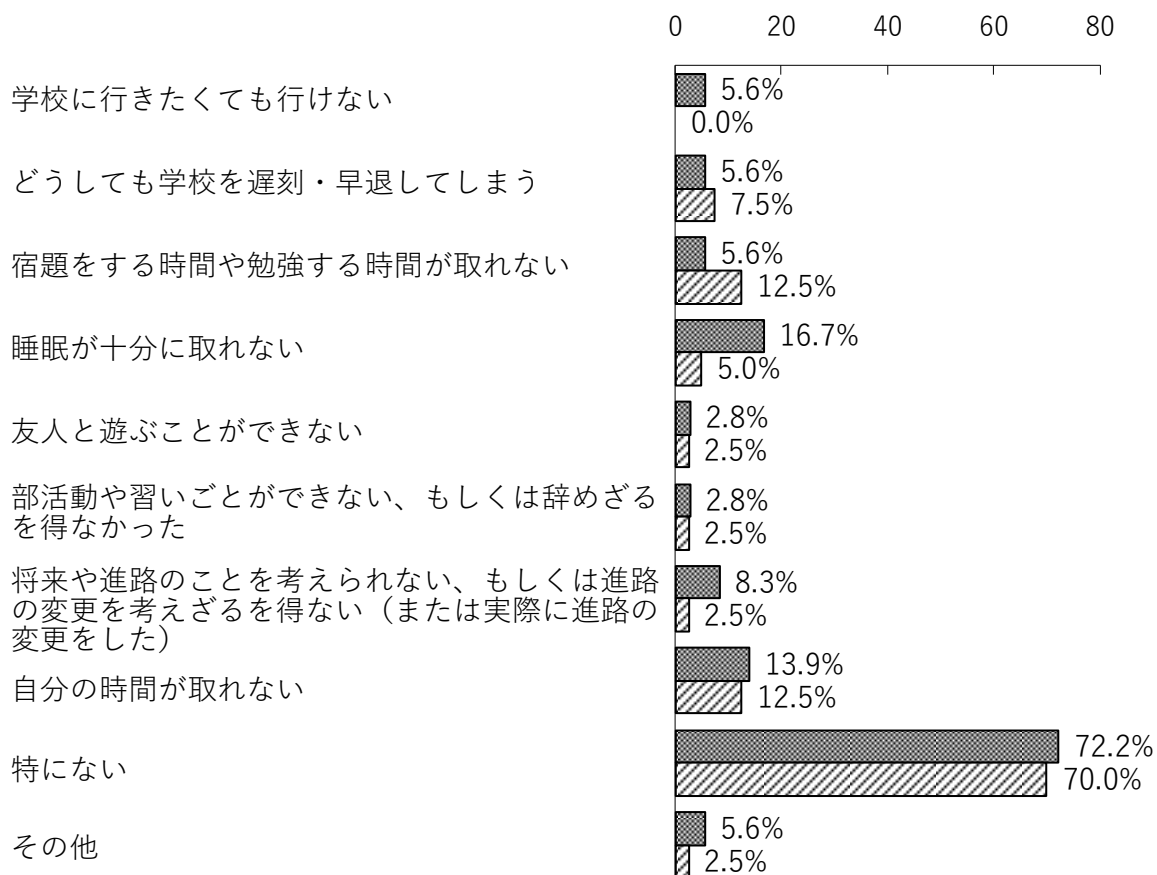


Q22 お世話をしているために、できていないことはありますか（複数回答）

お世話をしているために、やりたいけれどできていないことについては、中・高生では、「特にな
い」が72.2%で最も高く、「睡眠が十分に取れない」が16.7%、「自分の時間が取れない」が13.9%で
続いています。

小学生では、「特にない」が70.0%で最も高く、「宿題をする時間や勉強する時間が取れない」「自
分の時間が取れない」が12.5%で続いています。

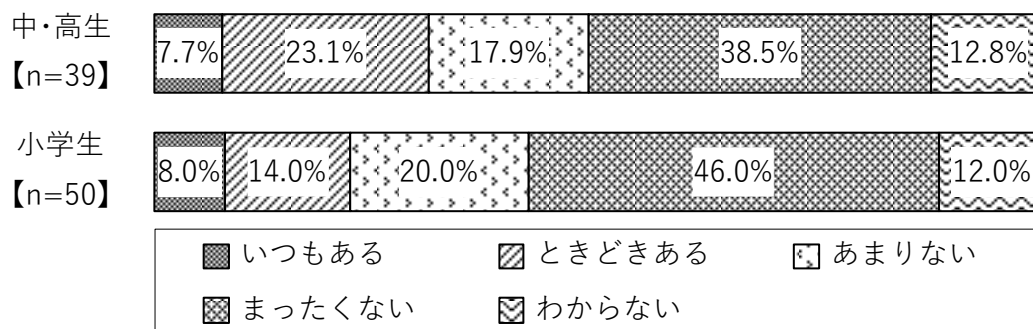
■ 中・高生 【n=36】 ▨ 小学生 【n=40】



Q23 お世話をされていて「つらい」と感じるときはありますか。(択一回答)

お世話をされていて「つらい」と感じるときについては、中・高生では、「まったくない」が38.5%で最も高くなっています。「ときどきある」(23.1%)と「いつもある」(7.7%)を合わせた『つらいと感じる時がある』方は30.8%となっています。

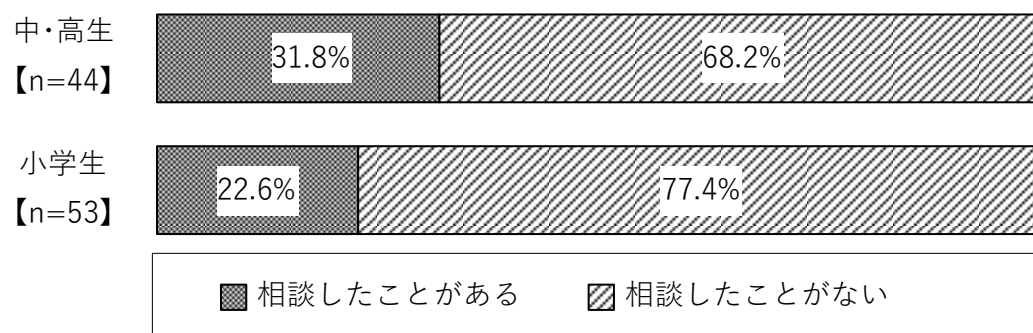
小学生では、「まったくない」が46.0%で最も高くなっています。「ときどきある」(14.0%)と「いつもある」(8.0%)を合わせた『つらいと感じる時がある』方は22.0%となっています。



Q24 お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを誰かに相談したことはありますか。(択一回答)

お世話について相談した経験については、中・高生では、「相談したことがある」が31.8%、「相談したことがない」が68.2%となっています。

小学生では、「相談したことがある」が22.6%、「相談したことがない」が77.4%となっています。



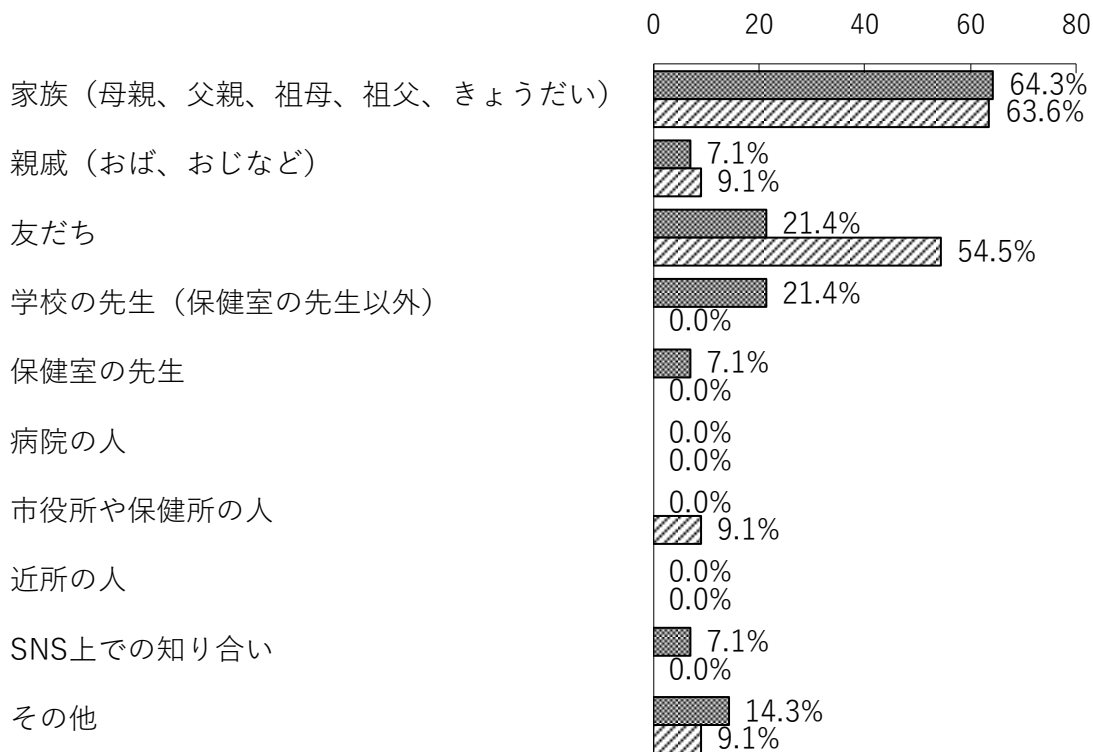
Q24で「相談したことがある」と回答した方にお聞きします。

Q25 誰に相談しましたか。(複数回答)

相談した相手については、中・高生では、「家族（母親、父親、祖母、祖父、きょうだい）」が64.3%で最も高く、「友だち」「学校の先生（保健室の先生以外）」が21.4%が続いています。

小学生では、「家族（母親、父親、祖母、祖父、きょうだい）」が63.6%で最も高く、「友だち」が54.5%、「親戚（おば、おじなど）」「市役所や保健所の人」「その他」が9.1%が続いています。

■ 中・高生 【n=14】 ▨ 小学生 【n=11】



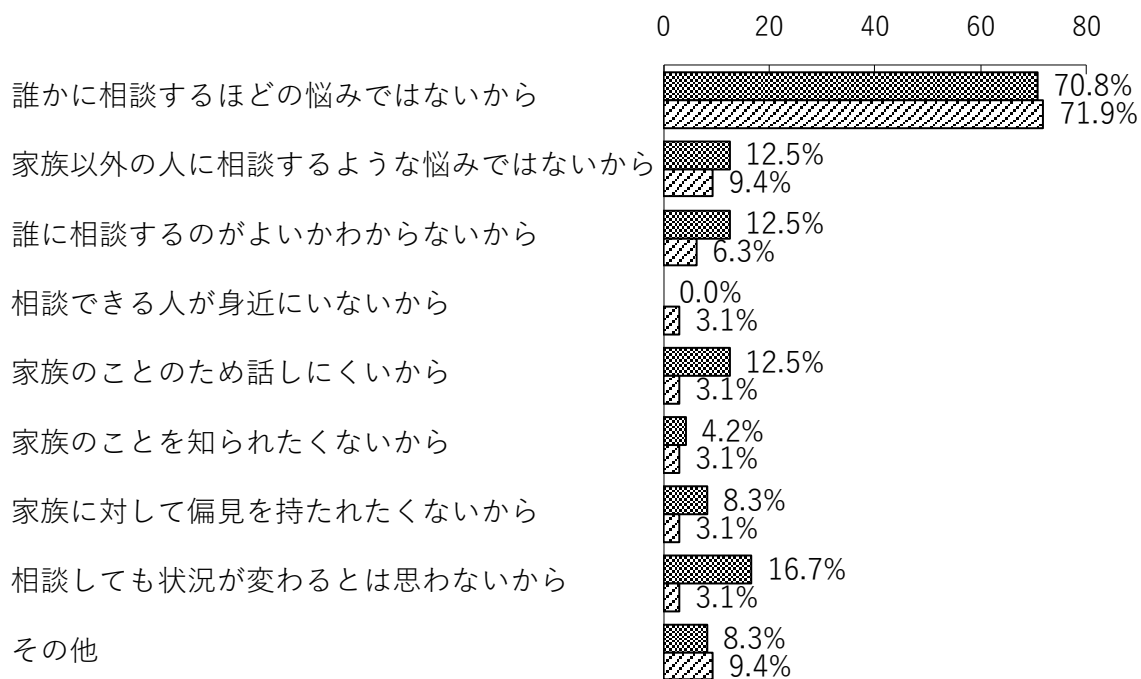
Q24で「相談したことがない」と回答した方にお聞きします。

Q26 相談していない理由を教えてください。(複数回答)

相談していない理由については、中・高生では、「誰かに相談するほどの悩みではないから」が70.8%で最も高く、「相談しても状況が変わるとは思わないから」が16.7%、「家族以外の人に相談するような悩みではないから」「誰に相談するのがよいかわからないから」「家族のここのため話しにくいから」が12.5%で続いています。

小学生では、「誰かに相談するほどの悩みではないから」が71.9%で最も高く、「家族以外の人に相談するような悩みではないから」「その他」が9.4%で続いています。

■ 中・高生 【n=24】 ▨ 小学生 【n=32】

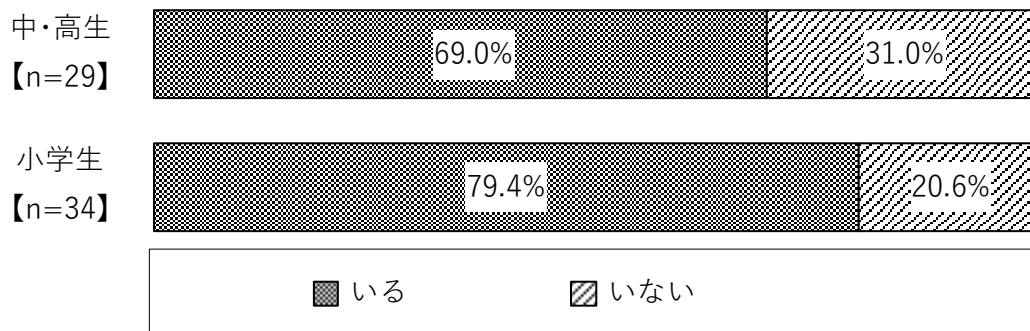


Q24で「相談したことがない」と回答した方にお聞きします。

Q27 お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを聞いてくれそうな人は身近にいますか。(択一回答)

お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを聞いてくれそうな人が身近にいるかどうかについては、中・高生では、「いる」が69.0%、「いない」が31.0%となっています。

小学生では、「いる」が79.4%、「いない」が20.6%となっています。

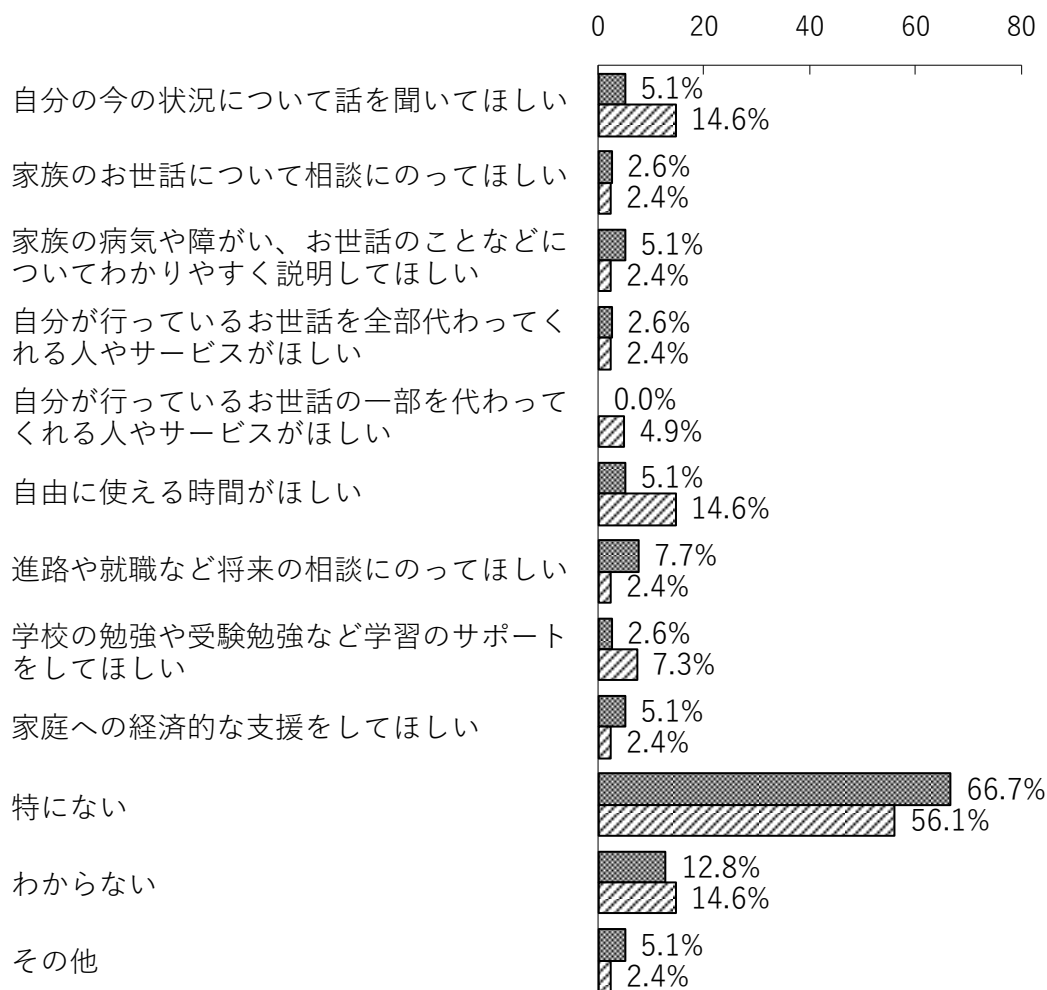


Q28 まわりの大人や学校に助けてほしいことや、必要としている支援はありますか。（複数回答）

まわりの大人や学校に助けてほしいことや、必要としている支援については、中・高生では、「特にない」が66.7%で最も高く、「わからない」が12.8%、「進路や就職など将来の相談にのってほしい」が7.7%で続いています。

小学生では、「特にない」が56.1%で最も高く、「自分の今の状況について話を聞いてほしい」「自由に使える時間がほしい」「わからない」が14.6%で続いています。

■ 中・高生 【n=39】 ▨ 小学生 【n=41】

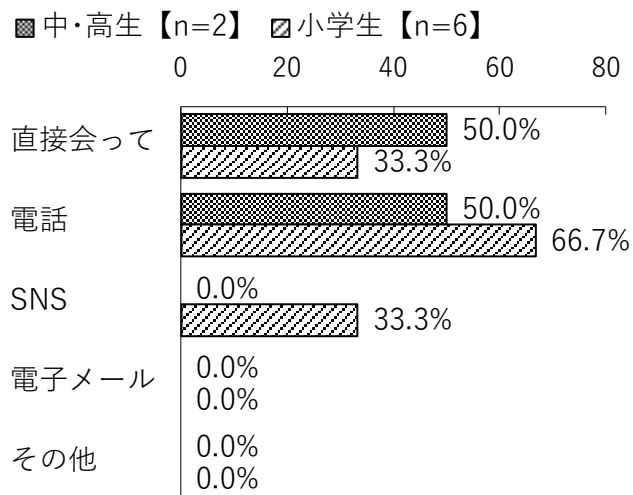


Q28で「自分の今の状況について話を聞いてほしい」「家族のお世話について相談にのってほしい」と回答した方にお聞きします。

Q29 どのような方法で話や相談をしたいですか。(複数回答)

希望する相談の手段については、中・高生では、「直接会って」と「電話」が同率（50.0%）となっています。

小学生では、「電話」が66.7%で最も高く、「直接会って」「SNS」が33.3%が続いています。



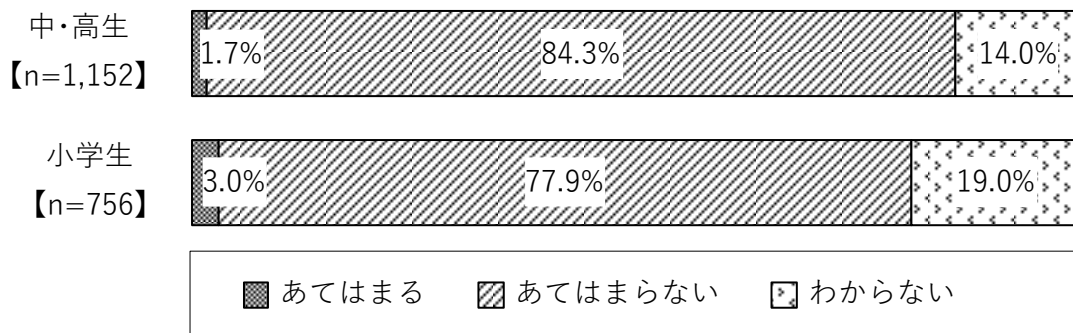
Ⅳ ヤングケアラーについて

ヤングケアラーとは、一般的に「本来大人がすると想定されているような家事や家族の世話などを日常的に行っている18歳未満の子ども」のことをいいます。

Q30 あなた自身はヤングケアラーにあてはまると思いますか。(択一回答)

自身がヤングケアラーにあてはまると思うかどうかについては、中・高生では、「あてはまらない」が84.3%で最も高く、「わからない」が14.0%、「あてはまる」が1.7%で続いています。

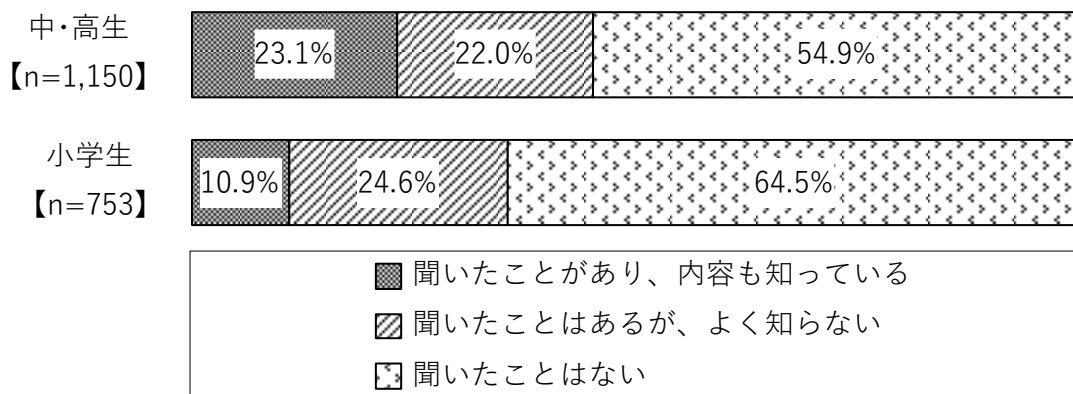
小学生では、「あてはまらない」が77.9%で最も高く、「わからない」が19.0%、「あてはまる」が3.0%で続いています。



Q31 ヤングケアラーという言葉のをこれまでに聞いたことがありましたか。(択一回答)

ヤングケアラーの認知度については、中・高生では、「聞いたことはない」が54.9%で最も高く、「聞いたことがあり、内容も知っている」が23.1%、「聞いたことはあるが、よく知らない」が22.0%で続いています。

小学生では、「聞いたことはない」が64.5%で最も高く、「聞いたことはあるが、よく知らない」が24.6%、「聞いたことがあり、内容も知っている」が10.9%で続いています。



Q31で「聞いたことがあり、内容も知っている」「聞いたことはあるが、よく知らない」と回答した方にお聞きします。

Q32 ヤングケアラーという言葉はどこで知りましたか。(複数回答)

ヤングケアラーという言葉はどこで知ったかについては、中・高生では、「テレビや新聞、ラジオ」が57.2%で最も高く、「SNS やインターネット」が36.0%、「学校」が34.9%が続いています。
小学生では、「テレビや新聞、ラジオ」が55.1%で最も高く、「学校」が26.2%、「SNS やインターネット」が22.3%が続いています。

